



中原だより

令和3年度 第10号
西東京市立中原小学校
校長 水野伸一郎
令和4年 2月 1日



「新しい生活様式を基盤とした教育活動」

副校長 上野 敦史

新型コロナウイルスオミクロン株による感染症の急激な拡大により、西東京市は子どもたちの安全を守るために、1月25日より2回目のオンライン授業を実施しています。保護者の皆様には、ご理解とご協力をいただきありがとうございました。オンライン授業が円滑に進められたのは、子どもたちの頑張り、ご家庭の協力のおかげと感謝申し上げます。

感染症の影響で、私たちの生活様式は大きく変わりました。これは学校教育においても同様です。今まで当たり前できていたことが思うようにできなくなりましたが、子どもたちに育てたい力を明確にし、これまでの教育活動を改めて考える機会となりました。

本校では、今までの行事を再編し、「スプリング」、「オータム」、「ウィンター」の3つのフェスタとしました。現在までに「オータムフェスタ（陸上運動主体）」と「オータムフェスタ（表現をテーマとした学習発表）」を実施しました。

各行事を学年主体のコンパクトな発表形態にしたことで、より子どもたちの様子が伝わりやすい距離感で発表ができました。また、1学期は陸上運動主体に特化したことで、学校生活の基盤づくりにじっくり取り組むことができました。その成果が2学期の「オータムフェスタ」での粘り強く取り組み、豊かな表現力をみせた子どもたちの力に繋がりました。

また、それぞれの行事の中で、ペア学年で応援や鑑賞をする活動も行いました。高学年の

競技や発表を驚きや憧れのまなざしで見ると低学年の姿がありました。高学年は、低学年に見られることで緊張感と責任感を高めて各行事に臨めました。

厳しい状況下でも子どもたちの成長のために、私たち教職員は創意と工夫で答えなければいけないと思いを新たにいたしました。

保護者の皆様には、これからも子どもたちの成長のために、ご理解ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

ウィンターフェスタに向けて

図工専科

2月に、本校ではウィンターフェスタ作品展が行われます。今回は感染症防止の観点から空間にゆとりをもたせるため出品作品は、一人一点と全校共同作品となっています。オンライン授業前には、休み時間にも図工室に来て個人制作の最後の仕上げを行う姿が見られました。オンライン授業では全校共同作品の一部を制作しており、作り方を理解して完成させようとする粘り強さが見られます。

最後に保護者の皆様にお願いがあります。ぜひ、ご参観の際に、お子様の作品に詰まったアイデアや発想、工夫を探していただき、そのことについてご家庭でも話題にしていいただければ幸いです。きっとお子様の自信となり、「つくるよろこび」につながることでしょう。そして、やがては、感性を磨くことにつながると思っています。今回も参観規模の縮小とはなりますが、保護者の皆様のご参観をお待ちしております。

※プリント版は2月7日（月）に配布予定です。